

2025 年度 学校法人 三幸学園札幌スポーツ＆メディカル専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 鎌田 克也

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【施策 1】

各学科の目標資格の合格率向上に向けて、資格取得の動機づけ、全国統一模試の活用、補講や教科担当との連携を深める。

【振り返り1】

●健康運動実践指導者

学校全体の合格率→51.7%（2024 年度 58.5% 2023 年度→70.1%）

●JATI 認定トレーニング指導者

学校全体の合格率→57.7%（2024 年度 61.3% 2023 年度→42.9%）

●アスレティックトレーナー

学校全体の合格率→79%予定(2024 年度→81.0% 2023 年度→48.0%)

●はり師

学校全体の合格率→60%（2024 年度→84.8% 2023 年度→80.8%）

●きゅう師

学校全体の合格率→62.2%（2024 年度→81.8% 2023 年度→80.8%）

●柔道整復師

学校全体の合格率→78.4%（2024 年度→52.9% 2023 年度→51.6%）

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・学校理念や育成人材像は、入学時のスタートアッププログラムや学校生活ガイダンス、新入生保護者説明会で伝えているが、継続的に伝えることができていない。

② 今後の改善方策

- ・入学時だけではなく、キャリア教育、ホームルーム等の授業を通じて継続的に伝えていく。

③ 特記事項

- ・2025年度より保護者連絡アプリ「スクリレ」を導入。
- ・新入生保護者説明会を対面にて実施。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・教職員の人数も増え、多様化するコンプライアンスやハラスメントについて、認識を統一していくために時間を要している。

② 今後の改善方策

- ・年に2度の全体会議の中で、ハラスメント・コンプライアンスの研修を実施、認識統一を図っている。

③ 特記事項

なし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・スポーツトレーナー科、スポーツ&アクティビティ科では2025年度よりカリキュラムを変更し、NESTA様、株式会社ルネサンス様、ラディカルフィットネス様と連携して、職業観の醸成を目的とした初期教育を導入しているが、学生の職業観の醸成までは、まだ至れていない。
- ・資格をしっかりと取得させる教育体制と即戦力を備えた人物育成のさらなる両立が必要。

② 今後の改善方策

- ・アスレティックトレーナー科のカリキュラムを2026年度から変更予定。
- ・業界のニーズに合わせた授業シラバスの見直しができるよう、教科チーフの情報収集力の強化とそのため
の仕組みの構築、教科担当講師の声を教育に反映させることができる環境を作っていく。
- ・最新の現場動向を知るためにも外部企業と連携した授業を増やしていく。

③ 特記事項

なし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・主要資格の取得率は目標を下回る状況であった。
- ・学生の退学するケースが複雑化(人間関係の悪化・学習面の躓きなど)しており、適切な事前把握・事前対応ができていなかった。

② 今後の改善方策

- ・学校を休まない風土を再構築していく。また、教科担当教員から業界で働く未来をイメージした動機付けを実施していく。
- ・ホームルーム等を活用し、各クラスの課題を事前に察知し、それに適した指導プログラムを取入れるとともに、学校行事へのモチベーションを高め、協働力を醸成していく。
- ・スクールカウンセリングの活用などメンタル面のケアも同時に実施していく。

③ 特記事項

なし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・カウンセリングルームを開設しているが、利用数が少ない。
- ・保護者との連携について、新入生保護者説明会を実施しているが、継続しての連携は不足している。

② 今後の改善方策

- ・カウンセリングについては、些細な相談でも利用できるように、担任・カウンセラーと連携していく。
- ・2026年度はスクリレ(保護者連絡アプリ)の頻度を上げて情報発信していく。
- ・オンラインでの保護者会を実施し、学校の教育方針に理解いただく機会を増やしていく。

③ 特記事項

- ・カウンセリングについて、2025年度よりオンラインで24時間カウンセリングを活用できる仕組みを取り入れている。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

なし

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

2025 年度は第3期中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の 3 年目にあたり、東京未来大学及び小田原短期大学の中期計画改定を反映し、第3期中期経営計画＜第 2.0 版＞を策定し年度開始時より適用した。中期経営計画及びその進捗状況はホームページ上に公開している。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・地域や一般の方に向けた公開講座の開催には至っていない。

② 今後の改善方策

- ・学校という教育環境とスポーツ人材育成という実践環境を活かして地域や関係団体と連携した活動を推進していく。

③ 特記事項

なし